

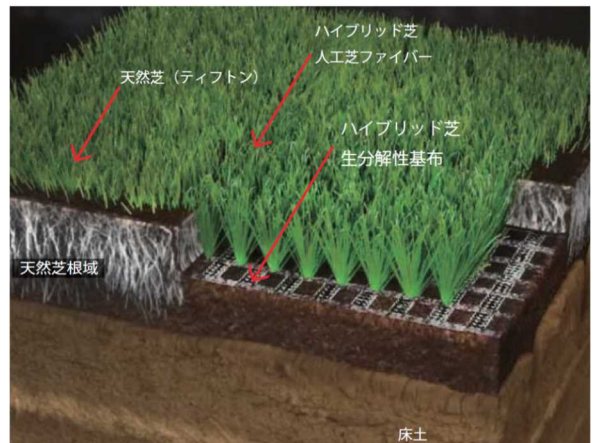
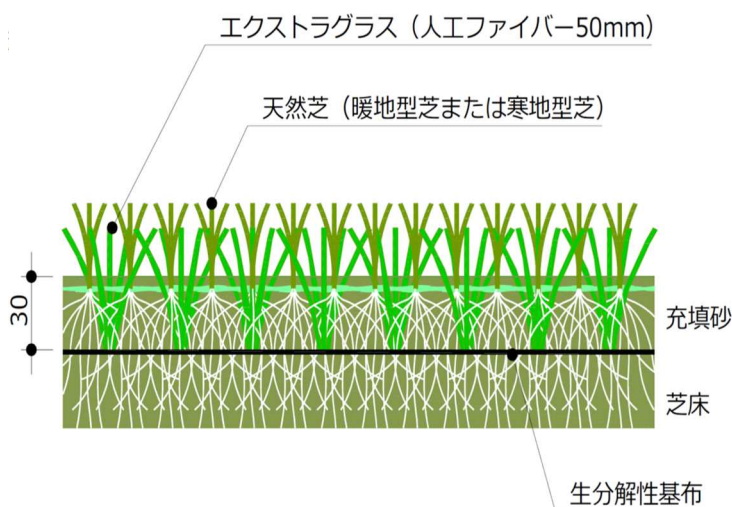
第4回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）
受賞名：エクストラグラスR 受賞者：日本体育施設株式会社

【受賞理由】

ラグビーやサッカーのプロレベルの試合が開催されるグラウンドは、天然芝の品質を維持するため芝生立ち入り禁止の期間が設けられるが、ラグビーワールドカップ2019ではタイトなスケジュールで試合が行われるため、これに耐える芝生として天然芝と人工芝のハイブリッド芝が注目された。開催会場の一つである昭和電工ドーム大分で導入された「エクストラグラスR」は、天然芝同等の品質に加え、補強材により平坦性を維持し傷みが少ないハイブリッド芝であり、以下の点が評価された。

- グラウンド表面は天然芝の割合が95%以上を占め、天然芝同等のクッション性がありながら、天然芝では剥がれるラグビーのスクラム時の集中荷重にも耐えることが可能。
- シートタイプの補強材を使用し、長期にわたって平坦性や均一性を保つことが可能。

■「エクストラグラスR」構造図



<概要>

用途特徴：ラグビー・サッカーグラウンド用芝生に使用。天然芝同等の身体への優しいクッション性があり、天然芝で剥がれることの多いスクラム時の集中荷重にも耐える。

改良年月日：エクストラグラス導入 2016年9月

エクストラグラスR生産圃場整備完了 2017年5月

価格：エクストラグラスR（圃場育成品）¥16,000-／㎡

エクストラグラス（現地施工型、芝植付まで）¥13,000-／㎡

評価実績等：日刊建設工業新聞、月刊体育施設などに掲載、NHKサンデースポーツ2020で放映